

## J R 両毛線の利便性向上について（改訂継続）

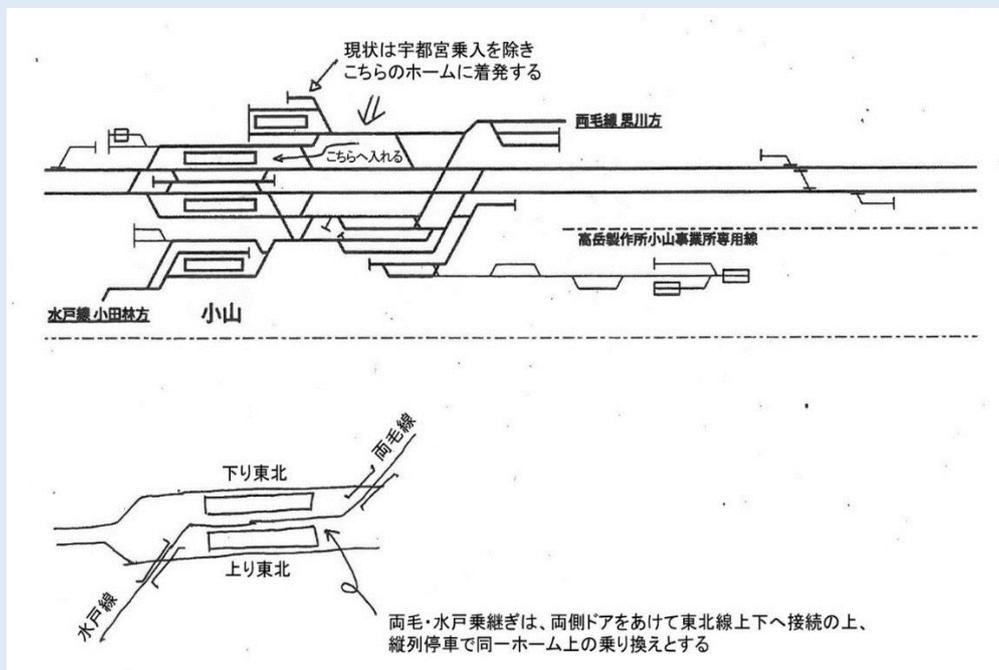
桐生市における軌道交通網としての J R 両毛線は、桐生広域並びに沿線における人材・産業・文化・情報の交流を盛んにするとともに、地域に発展をもたらす住民の貴重な足となっております。

首都圏と北陸、首都圏と北海道を直結し、東京を起点とした新幹線網が相次いで整備されたことにより、外環状線としての両毛線、水戸線の役割はより重要になってきています。ついては、更なる利用促進と災害発生時における代替輸送機能等の充実を図るため、次の事項について要望いたします。

1. 首都圏の外環状線としてのアクセス機能を高めるため J R 高崎駅～小山駅～水戸駅間の運行列車増発・ダイヤ改正などの利便性の向上
2. J R 小山駅での東北線・水戸線への近接乗り換えが可能な路線配置への変更別図添付※

\* 両毛線列車を、現在の新幹線高架下専用ホームから宇都宮線列車が利用するホーム列からの発着に変更する。（新幹線開業以前の乗り換え形態に戻す）

\* 将来的に、両毛・水戸両線が同一ホームにて上下宇都宮線に平面乗り換えができるように改善する。



3. 首都圏方面へのアクセス路の再検討並びに改善を図るため、J R 両毛線・水戸線の適切な一部複線化に向けた整備促進
4. 両毛線及び水戸線を走る SL などのイベント列車の運行

5. 両毛線・東武鉄道・わたらせ渓谷鐵道・上毛電鉄・おりひめバス等各線を利用して沿線を観光するためのフリーパスの発行

**【桐生市からの回答】**

J R 両毛線は、群馬・栃木両県をつなぎ、北関東の主要都市を結ぶ基幹交通であり、日常生活に欠かすことのできない交通手段として、多様な交流と連携を支える重要な役割を果たしております。

そのような中、現在、本市が事務局を担当している両毛線整備促進期成同盟会では、J R 高崎支社に対し、利便性向上などに係る要望活動を毎年実施しており、また、平成 29 年度からは会員である商工会議所・商工会からも分担金を負担いただき事業費の増額を図る中で、今後も官民一体となって利用促進への取組を強化し利用者の増加を図りたいと考えております。

首都圏の外環状線としての両毛線、水戸線につきましては、群馬県市長会から「災害時のバックアップ機能強化に向けた鉄道網の充実について」の要望を群馬県選出国會議員へ提出しているところであります。

また、沿線を観光するためのフリーパスにつきましては、現在も「ぐんまワンデー世界遺産パス」が期間限定で発売されておりますが、平成 32 年春には群馬デスティネーションキャンペーンの開催が決まったことから、フリーパスの更なる利便性の向上及び S L などのイベント列車の運行などにつきましては、両毛線整備促進期成同盟会などを通じて、J R 高崎支社などに対して働きかけてまいりたいと考えております。

**【回答担当】** 総合政策部広域連携推進室広域連携推進担当